

長浜北小学校からの報告

活動団体名： 長浜北小学校 水生生物クラブ

活動人数： 33人（教員2名）

取組時間：クラブの時間

調査内容

1回目：5月30日（月） 大井川 曇り 2回目：6月13日（月） 大井川 曇り
3回目：9月26日（月） 大井川 曇り 4回目：10月24日（月） 大井川 曇り

主な活動として、長浜北小学校前の大井川に棲む生き物の調査、水質などの調査を行いました。児童たちは網を持ち、水辺の草むらをガサガサしたり、大きな石を持ち上げ生き物を探したりして、生物調査に取り組んでいました。児童らの中には友だちが捕まえた生き物を調べたり、観察したりすることを楽しんでいる子もいて、それぞれが水生生物調査を通して水辺の生き物と関わることができました。調べたり、観察したりするときには、川辺の生き物が描かれた資料を用い、大井川にはいない生き物なども知ることができました。

水質の違いで棲む生き物が違うことを初めて知った児童もあり、調べる中で大井川はきれいだが上から見るとよごれていることに気づきました。6年生の中には、川が空き缶やビニール袋などのごみでよごれていることに気づく児童もあり、もっときれいな川にしたいと言っていました。



寒くなり、川での活動ができなくなると学校の中庭にある池やプールに棲む生き物なども調べ観察しました。川以外の身近な場所で水生生物が隠れていることに驚いていました。

調査員の感想

- ・サワガニがこんなにもいることを知った。
- ・空き缶やビニール袋が落ちていて、きたなかった。
- ・コイを捕まえられてうれしかった。
- ・初めて川に入ってとてもおもしろかった。
- ・ブルーギルが泳いでいて、びっくりした。
- ・草むらにはエビがたくさんいた。

捕まえた生き物たち

コイ、ブルーギル、スジエビ、ヌマエビ、ドンコ、ヨシノボリ、アメリカザリガニ、アゴ、カワニナ、トビケラ、ヒル、ミズムシ

調査のまとめ

水生生物調査を通して、大井川には水の澄んだきれいなところ、にごってきたないところがありましたが、長浜北小学校前はきれいな水質であることが分かりました。しかし、空き缶やビニール袋などのごみが落ちており、きれいな川と思っている児童は少なかったです。身近な大井川をもっときれいで生き物の棲みやすい川にしていくには、ごみのポイ捨てへの呼びかけや川をきれいにする活動に取り組んだりしていかなければなりません。

また、調査をする中で、アメリカザリガニやブルーギルなどの外来種の生き物も数多く棲んでいることが判明しました。アメリカザリガニはどこにでもいますが、ブルーギルを見た児童は大井川にもいるのかと驚いている様子でした。

活動の様子

【大井川調査の様子】



【網でガサガサ】



【サワガニがいました！】



【色々な生物がすんでいます】



【エビもいました！】



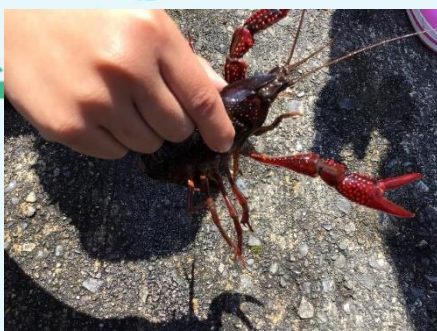
【ヒルです！】



【トビケラです！】



【アメリカザリガニだ！】



【たくさんとれました！】

